

難波天皇の妹、大和にいます皇兄に奉る

御歌一首

四八四番

一日こそ 人も待ちよき 長き日を かくのみ待
たば ありかつましじ

岡本天皇の御製一首 并せて短歌

四八五番

神代より 生れ継ぎ来れば 人さには 国には満
ちて あぢ群の 通ひは行けど 我が恋ふる 君
にしあらねば 昼は 日の暮るるまで 夜は 夜
の明くる極み 思ひつつ 眠も寝かてにと 明か
しつらくも 長きこの夜を

反歌

四八六番

山のはに あぢ群さわき 行くなれど 我はさぶ
しゑ 君にしあらねば

四八七番

近江道の 鳥籠の山なる 不知哉川 日のころこ
ろは 恋ひつつもあらむ